片倉

イベント　NEWS

第21号

2026年11月2日(月)

1年7組 新聞委員

片倉時々新聞

新聞委員会 発行会社 [秘]

発行2026年(令和八年)11月2日(月)　書道の日

学内展開催 芸術の秋！

秋も深まり肌寒くなった頃、読者の皆様はいかがお過ごしだろうか。「秋」それは、読書の季節であり、スポーツの季節でもあり、食欲の季節でもありさらに、芸術の季節でもある。片倉高校でもそれは変わる事は無く、学内展と言う造形美術の一年生らが制作した約百二十作品が展示されると言う秋の美術イベントが行われた。



▲学内展のために制作された妖怪がテーマの看板 写真提供(Dr.レイテンシー)

その企画準備は二週間程前から始まっており、戸倉先生が主体となりつつ担当生徒がそれぞれの役割を奮闘していた。何といっても中間テストとの同時進行であったため、開催への作業は順当にはいかなかったそうだ。特に装飾班の大看板の制作はボランティアの人らと共に最終提出日の六時まで居残ったんだとか。

アイディアの宝庫だ 学内展 眺めて自分の成長に

学内展の楽しみ方は、ただ見るだけではもったいない。一人ひとりが考えに考え抜いたアイディアを眺め自分の糧にし、自分の更なる成長につなげてみよう。

学内展から学びを得られるのは、何も、造形美術科生徒だけでは無い。例えば、デッサン一つをとっても滅多に見れない他人の視点を知る事ができる。デッサンで同じ物を描いていても、人によって描き方が違っていたり視点の高さが違ってたり、面白い。また、同じ授業課題であっても十人十色の作品が出来上がっている。



▶学内展の様子 写真提供(アガサクリスQ)

これらの事から、改めて人間の千差万別さが実感できる。自分が理解できない物を否定するだけで無く、自分に無かったアイディアとして受け取ってみてはどうだろうか

おまけ【今日の雑学】

チチン(タンパク質)の完全な化学名は約19万文字もあり、読み上げるのに約3時間30分もかかる。